



合同会社さわもと

業務内容 医療・福祉業 創業 2012年 従業員数 18名
所在地 長岡郡本山町吉野347-1

オンライン空間で始まる 新たなデイサービス、 高齢者に優しい仕組みを追求

高齢者が多い嶺北地域で、「合同会社さわもと」が2023年から展開する「オンラインデイサービス長老大学」。デジタル技術の活用で場所や距離といった物理的制約を解消し、本当にサービスを必要としている高齢者の方々に「集いの場」を提供しています。



代表社員
澤本洋介氏

Q 御社のデジタル化の取組内容について教えてください。



高齢者の方々がICTを活用し、手軽に交流・体操・習慣づくりに取り組める場「オンラインデイサービス長老大学」を運営しています。タブレットやパソコンのブラウザから利用でき、アプリを使えば「ワンタップ」や「完全自動モード」により、操作に不安があるご長寿世代の方も簡単に参加できる点がポイントです。現在は80～90代の利用者の方々が自然な形で機器を使いこなされており、3か月以上の継続率はほぼ100%を達成しています。

Q 抱えていた課題と、デジタル化に取り組みだきっかけを教えてください。

高知県の中山間部では、高齢者が地域の集いの場（ミニデイなど）に通うことが物理的に困難なことも多く、自宅に孤立する高齢者が増加していました。さらに、コロナ禍においては介護保険の通所介護サービスを利用していた方々も影響を受け、日常の活動や交流の場を失う高齢者が増加。このような背景から、「高齢者の集いの場を絶やしてはいけない」という思いが高まり、福祉課題の解決を目指したオンラインでのデイサービスを開始しました。



Q デジタル化に成功した秘訣を教えてください。

当初は既存のテレビ会議システム（Zoom等）を活用していましたが、複雑な操作も多く、高齢者が安心して利用するには大きな障壁がありました。そこで、高知県の課題解決プラットフォームを活用し、IT企業と連携。オンラインデイサービス専用のツールやアプリのブラッシュアップが可能になり、「ワンタップ参加モード」や「完全自動モード」など、現在のサービスの根幹を担う機能の実現に繋がりました。



デジタル化導入までの期間とプロセス

- 2023年4月「オンラインデイサービス長老大学」の運営開始
- 2023年11月に高知県の課題解決プラットフォームを活用し、2024年1月に「課題解決プロジェクト」を組成

導入にあたっての人材確保（ITベンダー含む）

- IT企業（株式会社ソフトビレッジ・株式会社TENTO）との連携

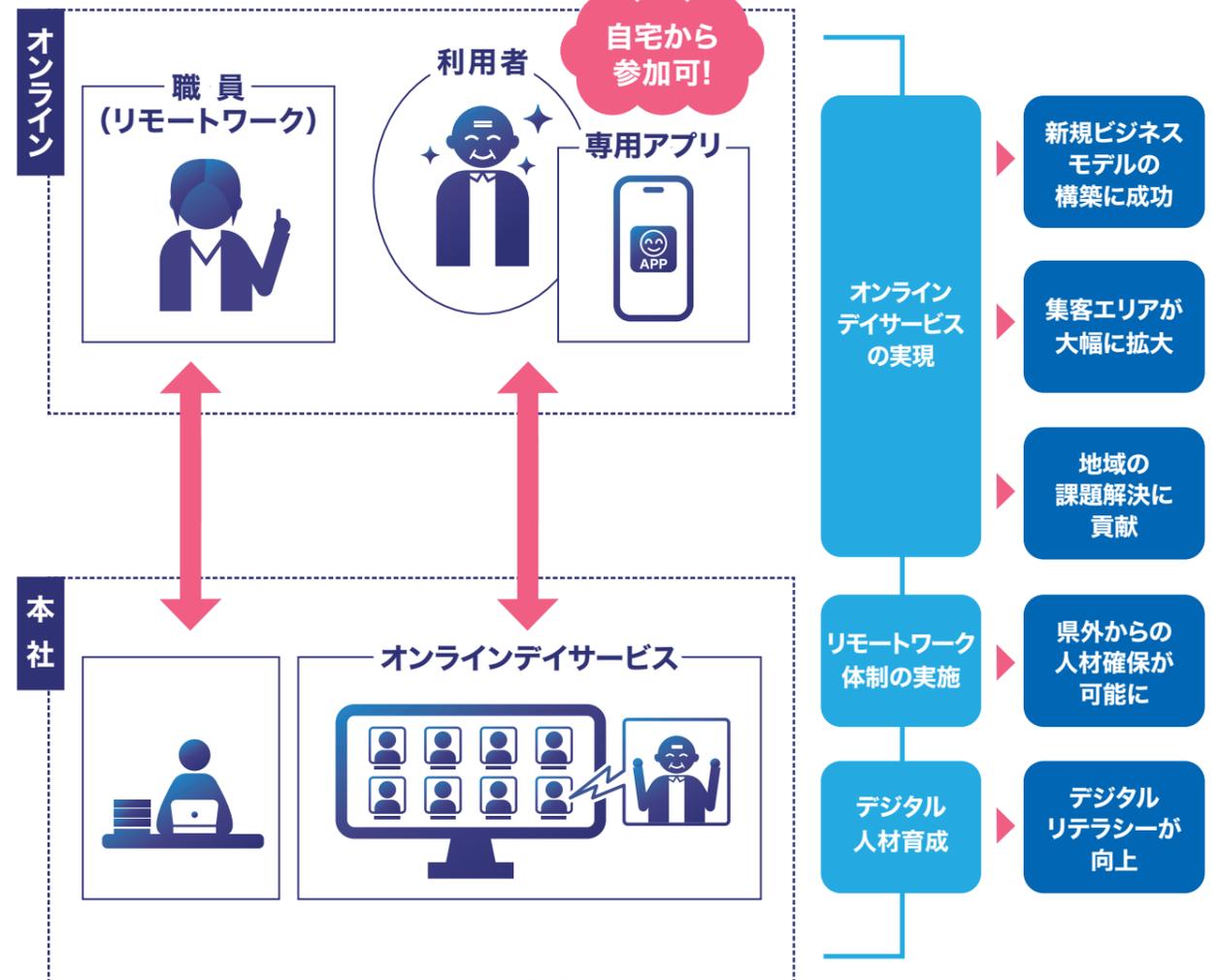
導入したITツール

- noiz
- オンラインデイサービス参加アプリ

支援機関、補助金等の活用の有無

- 高知県新事業チャレンジ支援事業費補助金
- 高知県IoT推進事業費補助金

デジタル化の取組イメージ



取り組みの成果

**オンラインデイサービスの導入による
地域外との新たな交流関係の構築と
利用者の活動意欲の向上**

受賞にあたって

地域課題からアイデアを構想し、ITの力を借りることでサービスの実現が叶いました。当サービスが、高齢者の心身の健康維持と社会参加の両立に繋がり、今後の地域づくりや、福祉課題の解決につながっていくことを期待しています。

これからデジタル化に取り組みたい事業者様へ

今回、弊社のサービスが、高齢者の方々が簡単にアクセスできる現在のレベルまでスムーズに進展できたのは、課題解決に向けて連携いただいたITベンダーの方々や支援機関のおかげです。デジタル化の構想をお持ちなら自社だけで悩まず、課題や進め方などが相談できる支援機関や専門家を活用してみたいかがでしょうか。



代表社員
澤本洋介氏